

## JSS 北海道 第10回地方会のお知らせ

実行委員長 石川 嗣峰 (手稲渓仁会病院)  
主催 JSS 北海道地方会・日本超音波検査学会

装置提供：株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンメディカルシステムズ

JSS 北海道第10回地方会では、超音波講演会を下記のように開催いたします。

今回のテーマは「各領域におけるスクリーニングエコーの実際～基本の標準的走査法から匠の技まで～」です。初心者の方には各領域における最も基本となる標準的な走査法の実際を学んでいただきます。中級者以上の方にはさらなるステップアップとしてスクリーニングのコツとポイントを匠の技として各領域において経験豊富な講師にデモンストレーションしていただきます。

今回は2日間に渡って開催いたします。1日目は心エコーを中心とし、第I部では描出しやすい被検者と描出しにくい被検者2名に対するデモンストレーションを中心にしたライブセミナーを開催いたします。第II部の特別講演はこれから心機能評価についてご講演していただきます。第III部では一般演題を行います。2日目は腹腔内臓器、血管を中心とし、第IV部「上腹部臓器」、第V部「骨盤腔臓器」、第VI部「腎動脈」の各領域における基本の標準的スクリーニング走査法、さらにはそのコツとポイントとして匠の技をライブでデモンストレーションしていただきます。

以上のように、各領域において、初心者から中上級者まで明日からの超音波検査にすぐに役立つ内容の地方会企画となっています。北海道地区のみならず全国からの超音波検査従事者の皆様多数のご参加をお待ちしております。

### 記

テーマ：『スクリーニングエコーの実際～基本の標準的走査法から匠の技まで～』

日 時：2009年2月28日（土）14時00分～18時20分（受付：13時00分～）

2009年3月1日（日）9時10分～12時30分（受付：8時20分～）

会 場：札幌医科大学 臨床講義棟 大講堂

参加費：正会員・事前登録：1,000円 正会員・当日受付：1,500円 非会員・事前登録なし：3,000円

ご注意：\*事前登録受付期間：2009年1月21日～2月4日（※2009年1月14日～WEB先行受付）

定員：350名

※変更となる場合もあります。詳細は学会ホームページ（<http://www.jss.org>）をご参照ください。

\*事前登録は登録時点での入会が承認されている会員の方のみご利用が可能です。

非会員の方や入会手続中の方はご利用いただけません。

\*事前登録のみで定員に達した場合は、未登録の方の当日ご参加はお受けできません。

\*空席がある場合のみ当日参加をお受けいたしますが、受付開始は事前登録の方を優先させていただきます。

\*地方会ご参加の方は事前登録の有無に関わらず会員証をご持参ください。

\*会場内でのビデオカメラおよびデジタルカメラでの撮影は禁止といたします。

\*本会は、日本超音波医学会認定の超音波検査士資格更新、5単位が取得できます。

### 札幌医科大学臨床研究棟1階 大講堂

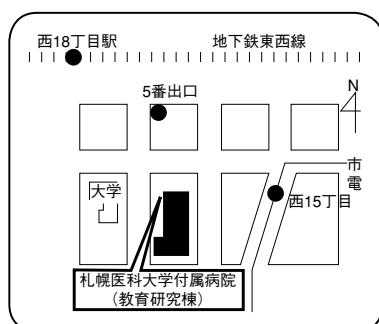
北海道札幌市中央区南1条西16丁目

（付属病院の北側）

□札幌市営地下鉄東西線「西18丁目駅」下車

5番出口より徒歩3分

□札幌市営電車「西15丁目」下車徒歩3分



## JSS 北海道 第10回地方会 プログラム

1日目 2月28日(土)

13:00~13:50	受付
13:50~14:00	開会挨拶・オリエンテーション
14:00~15:50	<b>第I部 「心エコーの標準化～スクリーニング走査法のコツとポイント～」</b> 講師：戸出 浩之（群馬県立心臓血管センター生理検査課） 司会：神 幸二（NTT東日本札幌病院臨床検査科） 最初に心エコーの最も基本的な標準的スクリーニング走査法、そのコツやポイントについてデモンストレーションしていただきます。さらに、描出不良な被検者の場合の匠の走査法を実際にデモンストレーションしていただきます。またご講演の中ではここだけは押さえておきたい各種の計測とその注意点なども解説、実演していただきます。日本の標準的走査法と‘匠の技’を同時に学べるまたとない機会です。
15:50~16:00	休憩
16:00~17:10	<b>第II部 特別講演「これから的心エコー検査：組織ドプラ、ストレイン、3Dエコー法をルーチン検査にどう活かすか」</b> 講師：湯田 聰（札幌医科大学臨床検査医学講座講師） 司会：長瀬 雅彦（市立旭川病院中央検査科） 心機能評価はMモード法や断層法で壁の動き診る時代から、ドプラ法で拡張能障害を診る時代へと定着しつつあります。ここ最近では機器の進歩により心筋伸縮の時相、捻れなど、より細かな動態を診ることで心不全の解析、治療に役立てていく試みがなされています。3Dエコーもルーチン検査で使われようとしています。今回は初心者にもわかりやすいように臨床での組織ドプラ法やストレイン法、3Dエコー法の使い方を中心にご講演していただきます。
17:10~17:20	休憩
17:20~18:20	<b>第III部 一般演題</b> 座長：石川 崑峰（手稲渓仁会病院臨床検査部） 田村 慎哉（帯広協会病院臨床検査科） 「無痛性甲状腺炎の超音波像」 工藤 悠輔（北海道大学病院検査輸血部） 「ソナゾイド造影超音波検査で鑑別が難しかった高分化型肝細胞癌の一症例」 松重 垣希（苫小牧市立病院臨床検査科） 「Sonazoid造影超音波とEOB造影MRIの対比」 島崎 洋（札幌厚生病院放射線技術部門） 「造影超音波が有用であった肝血管腫の一症例」 佐藤 千絃（太黒胃腸科病院臨床検査科） 「弁形成術後のMR所見～術中経食道エコーとの比較～」 長瀬 雅彦（市立旭川病院中央検査科）

## 2日目 3月1日(日)

8:20~9:00	受付
9:00~9:10	開会挨拶・オリエンテーション
9:10~10:10	<b>第IV部 『上腹部臓器の標準的スクリーニング走査法』</b> 講師：白石 周一（東海大学医学部付属病院臨床検査技術科） 司会：西田 瞳（北海道大学病院検査輸血部） これから超音波検査を始める方や、経験者の方にも標準的走査法を再確認していただき、見逃しのない匠のプローブ走査法、描出しにくい部位、被検者に対するテクニック、計測法のコツなどをデモンストレーションしていただきます。またご講演内容として日常検査におけるピットフォール的症例についても解説していただきます。
10:10~10:20	休憩
10:20~11:20	<b>第V部 『骨盤腔臓器の標準的スクリーニング走査法』</b> 講師：尾上 篤志（恒進會病院南大阪腎臓病センター超音波室） 司会：林 純美（天使病院生理検査科） 腹腔内臓器のスクリーニング検査で膀胱、前立腺などの骨盤腔臓器を見ている方は多いのではないかでしょうか。しかしながら超音波による異常所見の捉え方に疑問をお持ちの方が多いと思います。今回は膀胱、前立腺、精嚢腺など特に男性の骨盤内臓器の超音波解剖、計測法と正常値、疾患、ドプラでの評価法など、デモンストレーションをまじえて解説していただきます。
11:20~11:30	休憩
11:30~12:30	<b>第VI部 『腎動脈の標準的スクリーニング走査法』</b> 講師：寺澤 史明（新日鐵室蘭総合病院臨床検査科） 司会：沖中 英紀（王子総合病院臨床検査科） 腎血管性高血圧や糖尿病性腎症などの診断、評価において、超音波検査による腎動脈血流評価が求められています。そこで標準的腎動脈起始部描出法、パルスドプラによる波形解析のコツとピットフォール、区域・葉間動脈波形計測のコツと評価法をデモンストレーションにて実演していただきます。なおご講演では疾患や臨床例についてもあわせて解説していただきます。

連絡先：〒080-0805 北海道帯広市東5南9-2 帯広協会病院検査科 田村 悅哉

TEL: 0155-22-6600 E-mail: tamura@jss.org

(できるだけメールでお願いいたします)